



GROUP PROFILE 2025



Purpose

私たちは、革新的なソリューションで、
人、社会、そして地球の心地よさが続していく
KAITEKIの実現をリードしていきます。

Purposeは、三菱ケミカルグループ*が何をめざし、なぜ存在するのかを示したものです。

三菱ケミカルグループを導く「北極星」として掲げ続けてきたKAITEKIの実現に向けた力強く前向きな意志と、
ステークホルダーに対する私たちの約束を表しています。

* 三菱ケミカルグループ株式会社とそのグループ会社を指します

サステナビリティ

三菱ケミカルグループは、KAITEKIの実現をめざし、サステナビリティを経営の中核の一つに据え、カーボンニュートラル達成に向けた取り組みとサーキュラーエコノミーの推進を行っています。

カーボンニュートラルへの取り組み

温室効果ガス排出量を2030年度には29%削減(2019年度比)、2050年度には実質ゼロとするカーボンニュートラル(CN)達成を目指し、削減策を実行しています。2050年度を見据えてバックキャストし、2030年度の目標達成に向けて具体的かつ実現性の高い施策である燃料転換やプロセス合理化などの取り組みを着実に進めています。

温室効果ガス排出削減の計画と進捗(Scope 1&2)[※]



2030年度目標達成に向けた施策

- ・製造プロセスの合理化・省エネ化
- ・LNGへの燃料転換
- ・新技術導入
- ・事業構造改革

※ 田辺三菱製薬株式会社譲渡前の数値

サーキュラーエコノミーの推進

三菱ケミカルでは、プラスチック循環や炭素循環を中心としたサーキュラーエコノミーに貢献する取り組みを加速しています。環境負荷の少ない製品として、リサイクルプラスチック、バイオマス原料への転換、生分解による炭素循環、使用時の温室効果ガス排出量削減に寄与する製品等の拡大により、事業のさらなる成長を図ります。

三菱ケミカルのプラスチック循環への取り組み

プラスチック循環

- ・マテリアルリサイクルの循環モデル構築
- ・ケミカルリサイクルの事業化検討

バイオプラスチック活用

- ・バイオマスを原料とした各種プラスチック
- ・生分解による炭素循環

炭素・水素の活用

ライフサイクル・アセスメントの活用

- ・バリューチェーン全体で環境負荷削減へ貢献する製品・サービスの強化

オープンイノベーション、ステークホルダーとの連携

事業紹介

三菱ケミカルグループは、アドバンストフィルムズ&ポリマーズ、アドバンストソリューションズ、アドバンストコンポジット&シェイプス、MMA&デリバティブズ、ベーシックマテリアルズ&ポリマーズの5つのケミカルズ事業に産業ガスを加えた6つの事業を展開しています。

アドバンスト
フィルムズ&
ポリマーズ

アドバンストフィルムズ&ポリマーズでは、エレクトロニクス、モビリティ、フード、メディカルなどさまざまな領域のお客さまに、成型加工や配合の高い技術力を活かした高機能フィルムや合成樹脂を提供しています。製造・販売と技術開発の一体運営と幅広い技術プラットフォームで、お客様のニーズに迅速に対応するとともに、新たな価値を提供していきます。

アドバンスト
ソリューションズ

アドバンストソリューションズでは、ターゲットとする産業ごとに事業本部を設け、各産業の成長に貢献することをめざしてさまざまな製品・サービスを提供しています。我々の強みである多様な技術を礎として、各産業のキーとなるお客さまと密接に連携しながら、新たなビジネスモデルの提案も含め、これからもソリューションの創出に取り組んでいきます。

アドバンスト
コンポジット&
シェイプス

アドバンストコンポジット&シェイプスでは、モビリティ、デジタル、メディカルなどさまざまな成長市場をターゲットに、エンジニアリングプラスチックや炭素繊維、またこれらの複合材料等の製品を開発しています。これらの製品は強度、耐熱性、剛性等に優れた特性を持つ高機能製品であり、金属からの代替が可能な軽量化部材としても利用されています。





事業紹介

MMA& デリバティブズ

MMA事業は、主要3製法を世界で唯一保有し、約30%の世界シェアを誇る三菱ケミカルグループのコア事業の一つです。塗布や混ぜ込みによって性能を向上させるコーティング材料や添加剤についての深い知見を持ち、さまざまな製品を提供しています。これからも市場や顧客の持続可能性に寄与する製品や、代替不可能な特性を持つ製品の開発を続けていきます。

ベーシック マテリアルズ& ポリマー

ベーシックマテリアルズ&ポリマーでは、エチレンなどのオレフィンから各種基礎化学品・ポリマーなどの誘導品まで幅広い石油化学製品と、コークス・カーボンブラックなどの炭素製品を製造・販売しています。サステナビリティに貢献するリサイクル、CCUS*、バイオマス原料の活用などを通じて、基盤化学産業のグリーン化をグローバルにリードすることをめざしていきます。

* Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage

産業ガス

日本酸素ホールディングスグループは「The Gas Professionals」として多種多様な産業分野において、それぞれの企業活動の基盤を産業ガスで支えています。革新的なガスソリューションとアプリケーションを通じて社会的価値を創造し、産業の生産性を高め、人々の豊かで健康な暮らしと、より持続可能な未来の実現に貢献します。

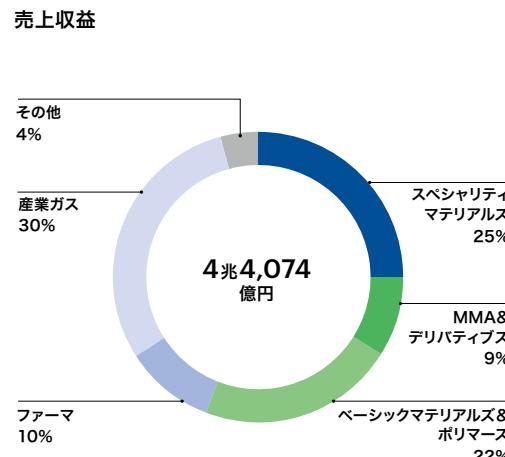


会社概要

三菱ケミカルグループ株式会社 Mitsubishi Chemical Group Corporation

本社所在地	〒100-8251 東京都千代田区丸の内1-1-1 パレスビル
代表者	代表執行役社長 筑本 学
設立日	2005年10月3日
資本金	500億円
上場	東証プライム
事業内容	グループ会社の経営管理(グループの全体戦略策定、資源配分など)
連結売上収益(IFRS)	4兆4,074億円(2025年3月期*)
連結従業員数	63,258名(2025年3月31日時点*)

業績ハイライト (2025年3月期*)



事業運営体制 (2025年7月1日時点)



三菱ケミカルグループ株式会社

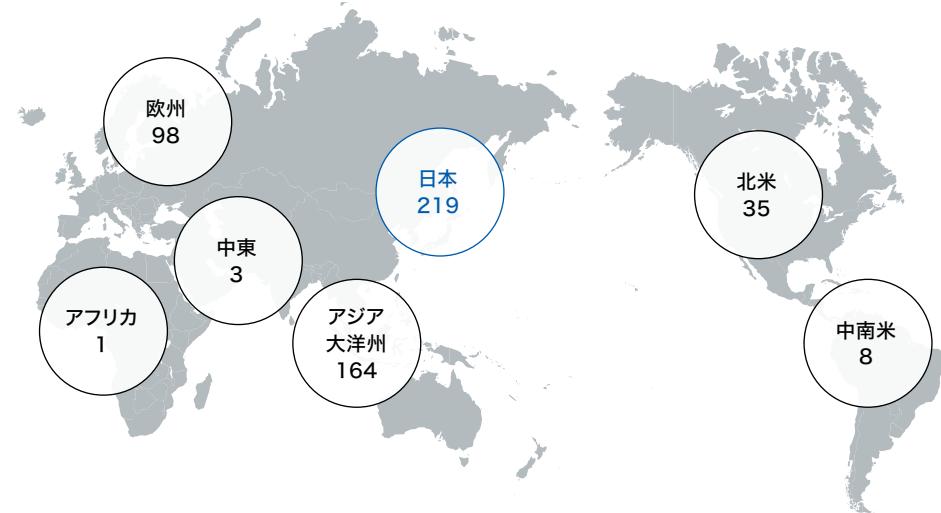


三菱ケミカル株式会社



日本酸素ホールディングス

グローバルネットワーク(関係会社数) (2025年3月31日時点*)



* 田辺三菱製薬株式会社譲渡前の数値

三菱ケミカルグループ株式会社

2025年7月改訂

- 本会社案内記載の内容については、予告なく変更する事がありますのでご了承ください。
- 本会社案内からの無断転載を禁じます。